



その日デブキチは
大きな過ちを犯した

ただいま

お兄ちゃん？

デブキチは、
妹・葵の下着に
魅入られていた

デブキチの
心を揺さぶる

スニフスニフ
ツツピング
俺の妹とお前の姉ちゃん
交換してエッチする話

葵の匂いが
デブキチを刺激する

ムッフツツ…!

はふはふ…

こんなこと
わいけな
わかつて
いるのに…

お兄ちゃん：
なにしてるの…



あつ…!!
これは…!!

禁断の香りと
戦慄が漂った



またこんなことして…
でも、昔は…

私もお兄ちゃんの…
デブチンに夢中だったな…



ごめん!

お兄ちゃん
キモすぎ!



また葵も兄で覚えた
性の記憶が胸を締め付ける



葵：お前が
蓮と付き合ってから…

孤独な部屋で
想いをぶつける



葵の笑顔が
遠い存在に変わった

チヨッロ♡
早くやられてえ…

二人が幸せそうに
見えるほど：胸が苦しい…



俺にはこう
するしかない…

ある日の日常



ニヤリ



葵：そんな姿で…



お兄ちゃん
顔赤いよ…?



デブキチの肉棒
妹の目に飛び込む

グツ



えっ
これって…



ねえ、お兄ちゃん
してあげようか？

ハァ

ハァ

ハァ

ギン

ギン

アムン

ドキ

触れた指先が
二人の関係を変え始める



お兄ちゃんの
おちんちんからでた
白いのヌルヌルする…

抑えきれない想い
また脈打つデブチン

昔はよく懐いてくれた
いい妹だったのになあ…



胸を締め付ける
甘くほろ苦い過去

暇を持て余し
蓮の家を訪れたデブキチ

ドキッ！



あら、いらっしやい

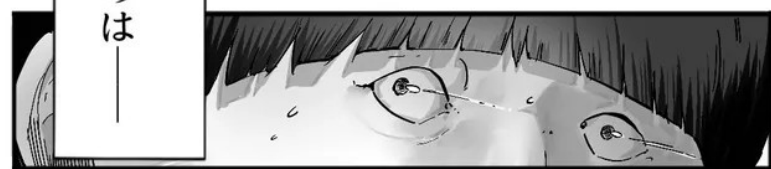
えっ、お姉さん!?

ドキ



おじやまします〜!
蓮の奴いるかな?

返事はなく、
階段から現れたのは――



ド

ド

ド

なん…だ
これ…!?

ド

ド

ド



ドキッ！
アッ！
アッ！
ドキ

その瞬間、見ては
ならないものが
目に飛び込んだ

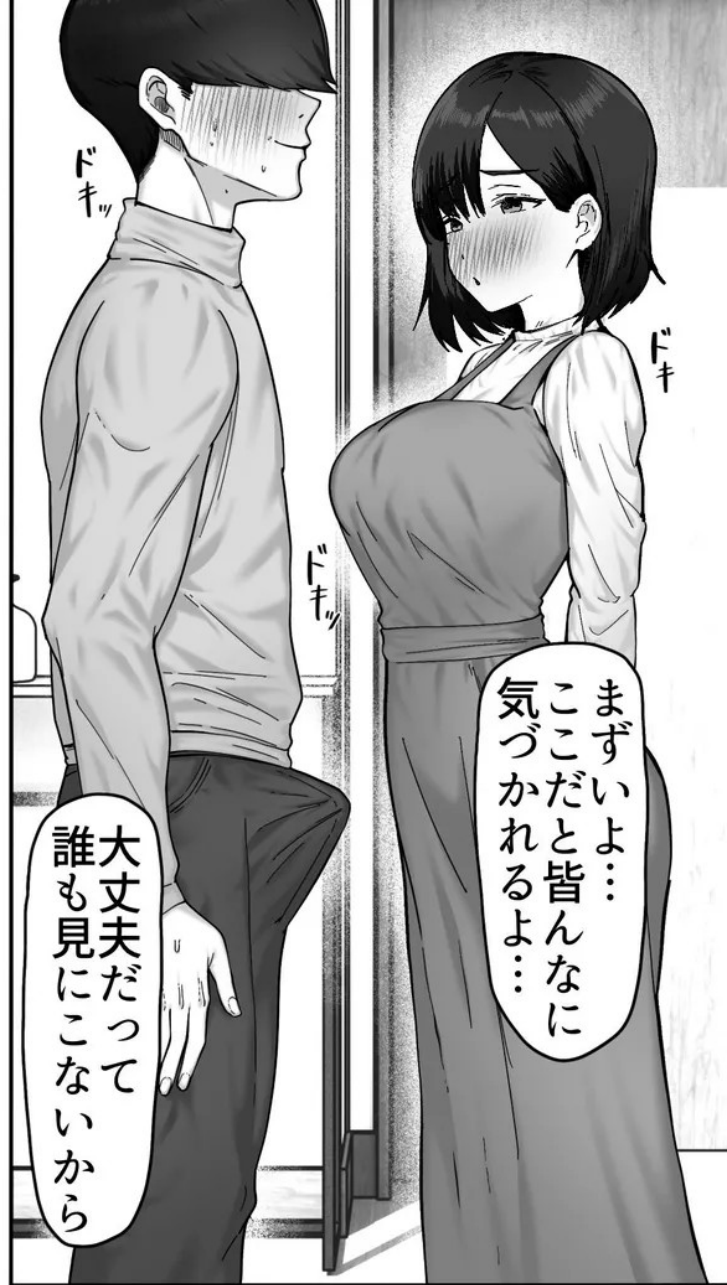


蓮のやつ、いるじゃん…
なんだ、返事ぐらいしろよ…



は、はい！
おじやまします…

なんて格好…
蓮なら2階に
いると思うわよ





扉の向こうにいたのは
メスの顔をした妹だった



ギンギンだからさ
ちよつとだけ
舐めてくんない…？



おっふ…



おっふ…



おお…

あ…



エロすぎっしょW

やーばW



なにしてんだよ……!

付き合ってたのは知ってたけど
薬がこんなことしてたなんて……



フェラエグいわW

ベロの使いたんとか
どこで習ったん? W



はあ

はあ



おつきい…

ツンばー…

うっは
液エツは
口…♡



…



え、ちよつ…

うわ、柔らけえろ！

服の下も見してよ♡





でも、さすがに…

大丈夫だって！
俺ら以外誰も
ここに来ないから…



はあ
はあ

まずいって…

ねえ…！



そう言う事
じゃなくて！

ゴム着けっから♡

え、てか…
なにしてんの…！？

でもパンツ
濡れたんじゃんW

あッ

あー、挿入^{はい}ってく…♡

あッ

んッ

マンコに感動するわ…

はあ

感じるの早すぎW

この体勢丸見えだから
マジ好きなんだよなW

ほら、もつと
マンコ締めて…!

はう…

あ♡

んッ♡

はあ♡





デブキチさん？
こんなところで
何をしているの？

背後から響く冷静な
声が全てを凍らせた



ふふ…
慌てなくてもいいわよ



突然の声に
全てが崩れる

えっ…！！
いや…その…！！

ドキン

ドキッ

ドキッ

ドキッ

なんだこの雰囲気...
ヤバい...!

こんなところで
一人でどうしたの?

ドキッ

すごいビンビンだね...

え...いや

ビッ
ビッ

こんな雄チンポ...
私が面倒みてあげる

へ...!?



あつ...蓮くん...
だめえ!

あじ
パッ
パッ
パッ
パッ

ふふ...お盛んね
あの二人

二重の背徳感が
快楽を引き立てる

ん...!



こんな状況で興奮するなんてあなたも変態ね



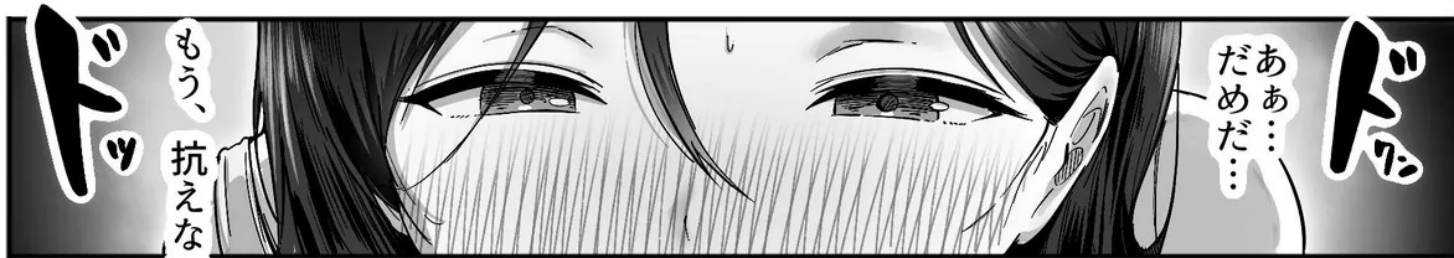
大丈夫私が気持ちよくしてあげる



や、やばい... どうしよう...!



皮の中に指が...



もう、抗えない...

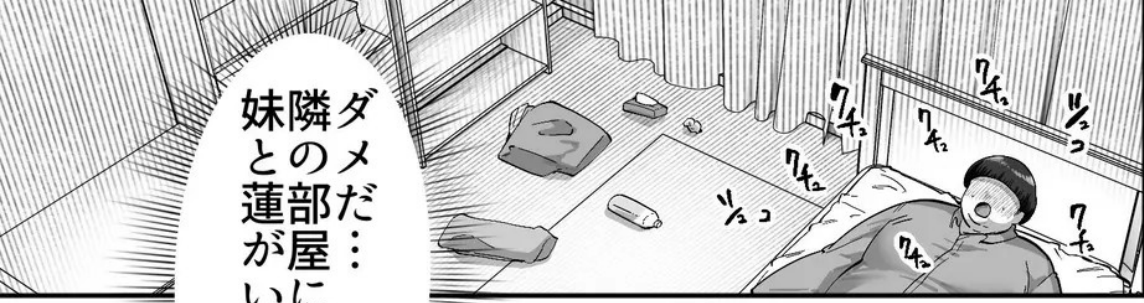
ああ... だめだ...



REIKA

バタッ...

葵への想いは過去のものだ...



ダメだ隣部の蓮と蓮がいるのに...

ワッ
ワッ



ふふ...
こんなに硬くしちやって...

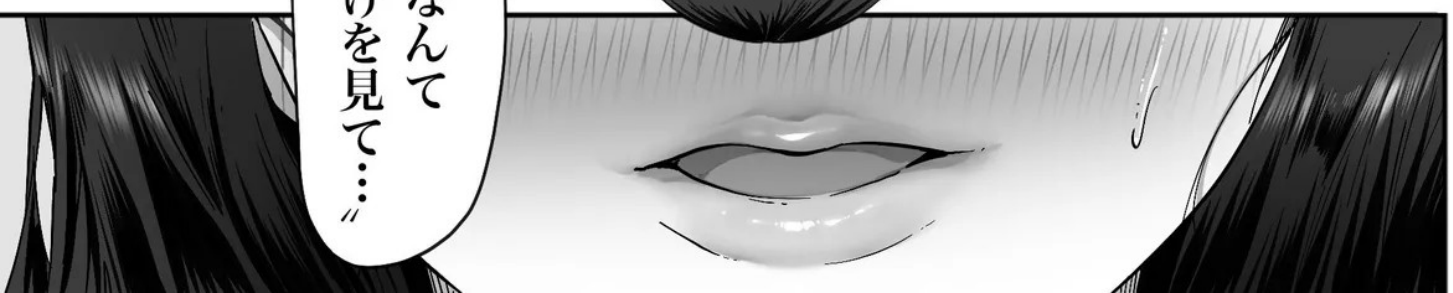
葵ちゃん...
蓮のやつが手出して
ごめんね...

デブチンの理性の声は
快樂の波に飲まれる

これからは私が
全部教えてあげるね

妹のことなんて
忘れて私だけを見て...

あ...
あ...
あ...





ほら、もっと見せて
本当に可愛いわね
デブキチさん

こうやっておちんちん
手でされるの初めて...?

ふあ、はい...



昔も、同じことがあったのよ...
覚えてないの？

えっ...昔...?
俺が...??

記憶の底から
禁断の過去が蘇る

フッ...

まだ幼い日々の記憶

ええ、あの時も
自分からチンポを
差し出してきたわ

姉ちゃん
見て見て！

僕たち
すごい出たよ！



姉の手が少年に
初めての快感を与える

ああ
お、お……

ぼくのも触ってえ

私がオナニーの
仕方を教えてあげるわね……



こうやって
優しく……



ねえ
気持ちいいよ!



皮オナは皮が伸びるリスクがあるのでやりすぎに注意しましょう

デブキチは親友の
姉の手コキで性に目覚めた

ふふっ、デブキチさん……
反応が可愛いわ

麗華は弟以外の
性処理道具を見つけて
妖艶な笑みを浮かべていた



麗華れーちゃんに教わった
手コキを無垢な葵に仕込んだ

お兄ちゃん
これでいいの

うん葵
その調子だ

これはちんぽ
マッサージって言うんだ
葵も好きな人が
出来たら、してあげるんだぞ

はあー
はあー
はあー
はあー

はあー
はあー

はあー



麗華の手コキに翻弄され
デブキチは過去を思い出す

ふふっ...
どう私の手覚えてる...?

デブキチは
麗華の手で果てた

んおおおおー

ぐゅ

ぐゅ

ぐゅ

ぐゅ

ぐゅ

ぐゅ



ここからは初めてよね...

ああ...麗華さん...

麗華の欲も高まり
デブキチのちんぽが
休む暇などなかった



麗華がゆつくりと腰を動かしてスマタで快楽を与える

ああああ...!
最高だ!

ハッ...
ハッ...
ハッ...

ズル...
ズル...

ビキ
ヒキ



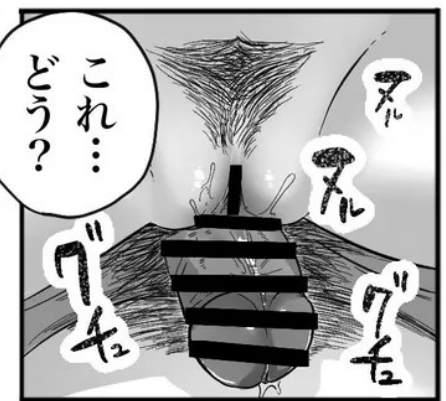
僕は...
もう我慢できない

もつと...
エッチな動き
見せてあげる

ふふっ...
どう？感じてる？



ほら、もっと
近くで見て...



おちんぽの汁で...
すごいぐちゃぐちゃ...

モワァ

おまんこ
感じてみて…

これが
現実なのか？

彼女は蓮の姉だ
でも、もう止められない

クパァ

彼女が僕を包み込みを
葵を忘れ彼女に全てを
捧げたいと願った

麗華の手が
デブキチを導く

彼女のまんこから
変態の味が伝わる…

生まんこ…
こんなにエロいんだ…

クパァ

イキまくって余韻に包まれるふたり

デブキチさん…
クンニすっごい上手で
何回もイっちゃったよ…

麗華ねーちゃんと
エロいことしちゃった…
僕はこの秘密を守れるのか？

ギャ…

ふふ、あなたって
昔から可愛いわね

ええ？俺
可愛いっすか？
デブででかいし…

でも可愛いだけじゃダメなのよ
素直でちよっと抜けてる感じが…

うっ…寝められてんのか
イジられてんのか…

キーン…

嘘でしょ
お兄ちゃん…？

ねえ…このまま
ずっと一緒にいられたら…

なんか
視線を感じる…？

開かれた扉の先に
想像もしなかった視線が



運命の扉が
開かれた

これ…
どういふことだよ…



嘘だろ…こんな
嘘だつて言ってくれ…!!

お兄ちゃん…
どうして…?

お前…
ねーちゃんとよくも…

ガクガク



終わった…
全部、終わった…

ヒッ
ヒッ

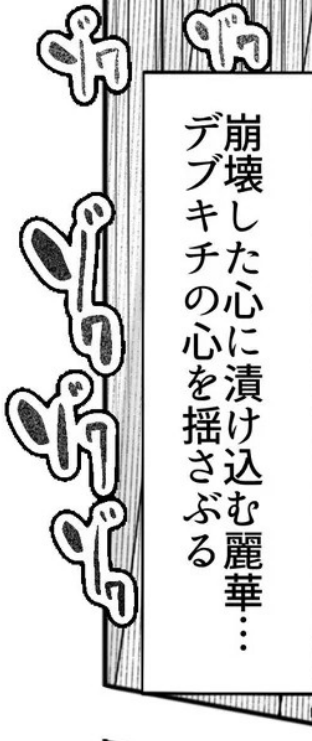


俺は…
本当に終わったのか…？

何を落ち込んでいるの？
まだ終わりじゃないわよ



崩壊した心に漬け込む麗華…
デブキチの心を揺さぶる



お兄ちゃんのパカ

ねーちゃん…

葵は…
もう戻ってこない…

いいじゃない…
もっと正直になれば？



エッチしてえ…

葵…
麗華ねーちゃん…



隣の部屋
から響く声

ふふ：
おちんぼは
素直ね？

エロ過ぎる麗華が
理性を溶かしていく



葵との可能性が
無くなったデブキチ…
その腹いせは麗華に…

もう…過去を引きずるのはやめよう



俺…
麗華ねーちゃんが…ゴホホ



麗華ねーちゃん…

ガッツ



全てを...
捧げたい...



麗華...

デブキチに
もう理性はない

麗華...



おぼお...



私...
壊れちゃう...



イツク

デブキチさんに...
こんなになされたのは初めて...



麗華…
もう戻れないよお
僕たちの関係は
ここからだよお

はぁ…

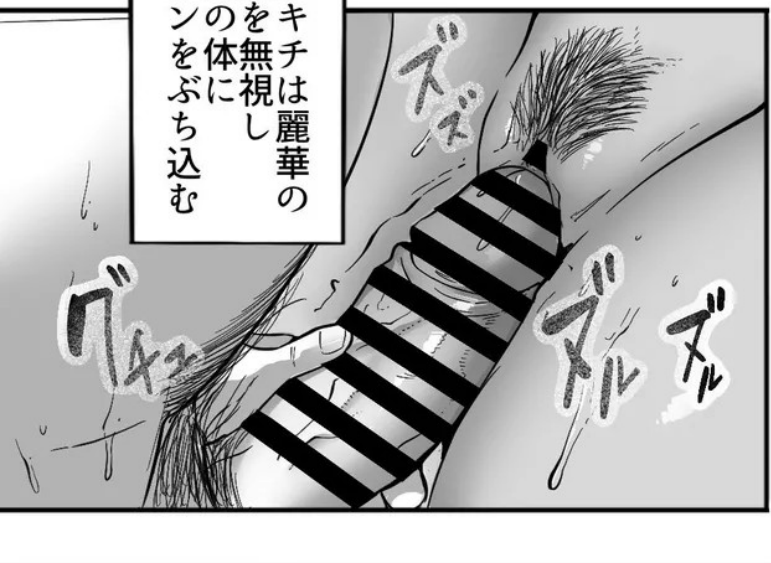
ハッ…
ハッ…

待って…
そんな…

デブキチさん？
ゴムは…？

ゼー
ゼー

デブキチは麗華の
動揺を無視し
彼女の体に
生チンをぶち込む



あつ…もう…
ダメ…こんな…

ズズ…



もう止められない
この感じ、たまらない…

ズズ…

ズズ…



デブキチの野郎…
ねーちゃんに
手だしやがって…

隣の部屋では—

ちんちんが
ドクドクする…

葵…お前
まだあいつを
気にしてるのか？

蓮くんが私で
興奮してくれてる…♡

……



お兄ちゃんのごとは…
お兄ちゃん…



葵、大丈夫
今は俺だけを見て



蓮くん…
ずっと好きだよ…

俺も…
葵のこと



葵…やばい…
それ以上激しくしたら…



はまだ元気だね...

葵...
ちよつと待って

ゴムは...
つけなくて...
平気か?

平気...

蓮君は
私のものだから...

はあ...
はあ...
はあ...

はあ...
はあ...

え...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...



デブキジさん...

激しすぎ...

麗華ア...

麗華ア...

うっ...
意識が...



ダメエ...!



俺の夢だったんだ...

麗華ア...

生で犯して
中出しすんの...

好きだよお
愛してるよお



中出しは絶対…
ダメだから…

ぜえ…

ぜえ…

僕は…

グツッ



ダ…メエ…
子供出来ちゃう…♥



僕の精子いっぱい
出してあげるねい

もう一人
じゃないんだ…

ギン
ギン
ギン



僕は麗華ねーちゃんに
弄ばれ性癖歪まされ
葵も寝とれて…

この責任は
中出しで
とってよ…!!

おっお…♥

あ…♥

う…

う…

パッ

パッ

パッ



だずけ…て…

あッ
ッッ

ッ…

もう悲しくなんてないよ…
だって、私には…

蓮くんがいるもん…!

ぽん
はち

うわっ…えつと
ちよつと待て…

落ち着け…!

れんくん♥

おちんぽの精子…
全部私が…

ッ

搾りとってあげるね…♥

吹っ切れた葵はすべてを
蓮にぶつけようとしていた

はち

はち

はち

はち

はち



蓮くん…
もう、離さない…

お兄ちゃんみたいに…
私以外の女に行かないで…

彼女のまんこが
狂おしいほどに
ちんこを締め付ける…

グッ
グッ

キュン♡
キュン♡

グッ
グッ



ただ、快楽と狂気が
混ざり合うだけだった

二つの部屋、
二つの歪んだ関係
そこに正しさも
後悔もない





私の蓮くん…♥

蓮くん…っ

ヤ、ヤバイ…

同じ快樂の瞬間
それぞれの運命が決まった



葵は男を征服し
麗華は男に征服される

おらア!
孕め!

イクッ!

この度は本作品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
2025年の一作目として、無事にお届けできたことを大変嬉しく思います。

今回は久しぶりに「キモ男」を意識して描いてみたのですが
僕自身がキモ男みたいなもんなので他人事とは思えず執筆できました。

デブキチの続編…描きたいですね。

引き続き応援していただけると嬉しいです。
ぜひレビューなど感想いただけると励みになります。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします！

注意事項

18歳未満の方の購入・閲覧・転載・アップロードを禁止いたします。
この物語はフィクションであり、登場する人物、団体名、場所等は
架空であり、現実のものとは関係ありません。

x:@karkun369

x:@karkunr18



シスター スワッピング

俺の妹とお前の姉ちゃん
交換してエッチする話



らんらんが
くどくする...

運くんが私で
興奮してくれる...♡

寒いお前
をいっつを

...

子供出来る...

山侯の
子供出...

...

隣の部屋
から響く声

ふふふ...
おらんぼは
素直ね?

エロ過ぎる麗華が
理性を溶かしてい

妾との可能性が
無くなったデブキチ...
その腹いせは麗華に...

もう過去を引き...







はぁー...

はぁー...

はぁー...

はぁー...

ゴッ

ゴッ

ゴッ